

2009年 第3号 9月16日 発行 総号数 45

ふくらく通信

発行者 菅野 香織

ご意見・ご感想は
こちらへ
〒980-8529
仙台市青葉区一番町1-16-5
河北仙版内「ふくらく通信」まで

河北新報社運営のウェブサイト「ふくらく」にて「ふくらく通信」ネット版も開設しています。「ふくらく」は会員登録無料で、会員はコメントの書き込みやメールもできます。参加してみてくださいね。
または、ネット版へ

町の個性は市民の宝
昭和の文化も残さねばも

「町づくりとは...」
身近だけれど、少し古い昭和の店や物を、壊すばかりでなく、修復し、活かすことも大事ではないかなと思ふ頃です。
町の人々と、この町は、

馴染みの店も人も、開業と共にどこかへ離れる...
寂しいだけでなく、人とのつながりや町の個性も、その場所から消えちゃうような...
あ、あの店がある...
あ、あの人がいる...
あ、あの場所がある...
あ、あの人がいる...
あ、あの場所がある...

再開発で、消え行く昭和の文化があります。防災上の安全や、利便性を考えた区画整理は必要でしょう。でも、そこにあった町の歴史や個性も、すっかり取り取って無くしてしまうのは、市民の宝を失うことのように思えます。
こんな町だったから、後にこういう物は残したという目標を共有した上で区画整理し、開発していくのが本當の町づくりではないのかなあと考えます。

私が、うめこった!
加藤畜産さんのメシカツ

道端にあった家や店は、どんどん消えて、合戦しているのは2つだけかな。
その中に、「加藤畜産」さんが残っている(肉屋です)。

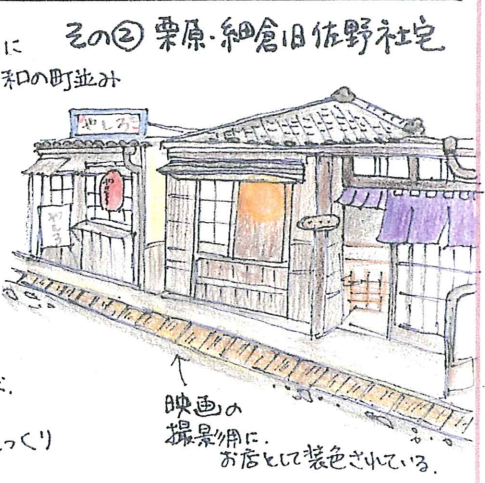
その① 二十人町
おじいちゃん、おばあちゃん、かつてあつた藤村のお店さん、開店し、もう店もない。好きだったお菓子、残念

こんな町だったから、後にこういう物は残したという目標を共有した上で区画整理し、開発していくのが本當の町づくりではないのかなあと考えます。

噛みこすのが小気味よい。夜がざつり。臭い(しょうゆ)の旨みと、肉の旨みを引き立て、臭いの旨みが絶妙。

道の駅 路地りほがやち
花山湖
R457
R398
作野
旧佐野社宅
花山から車で5分程の近さ

その② 栗原・細倉旧佐野社宅
あの映画「東京タワー」に使われた昭和の町並み
はそりメインパーク
作野
旧佐野社宅
花山から車で5分程の近さ



温かい、愛国気のあるこの店があったら、二十人町の良さがある。
人が無関心でも、手を入れれば壊れてしまふ。生き物の暮らしを良く見て、環境を崩さず、上手に手入れをしていくことが大切でしょう。

花瀬川の中、豊かな自然
様々な命を、水と草木が育んでいる。

細倉金山の築屋は古いらしい。盛んに経営されたか、江戸〜昭和に残る。昭和初期に作られた金山会社の社宅の一部が、今もなお残っていた。昭和の町並みが、一区画、そっくり残っているのはすごい!
こういう昭和の文化も、残して活かしたい宝だなあと思う。

生き物のため
環境のために
安易に餌を与えるのをやめましょう

鳥に子虫がなく、「そのう」や「さのう」という。人とは違う消化器官があります。パンやご飯、ストック菓子などは、「そのう」の中で腐敗しやす。そのう炎の原因となつて、命にかかわることもあるそうなので、餌遣いをお願いします。



鳥のこみつけ隊
報告書
木戸倉から「ビ」の音が聞こえ、そこにはキツキツの中間の小さな「コケラ」がいます。